

50th

ANNIVERSARY
ASAHIKAWA AIRPORT



《特集》
大きく羽ばたく
旭川空港50周年

昭和41年に開港した旭川空港は、6月に50周年を迎えました。
スタートは、プロペラ機のYS-11型機による東京までの1日1往復。
現在は国内3都市を結び、国際線も複数運航する空港となりました。
安全運航の取組みや、旭川空港ならではの魅力などを紹介します。



開港時を語る田村哲男さん



滑走路の工事



開港記念式典



プロペラ機が就航



開港当時のターミナルビル



開港を祝うパレード

プロペラ機からジェット機、そして国際線の就航へ

地域の熱意が生んだ空港

旭川空港は、市内中心部から南東へ約16 km離れた旭川市と東神楽町にまたがる地域にあります。

日本では、昭和26年に民間航空が再開し、同年千歳空港が開港。道内空港の建設が国から示される中で、旭川でも空港建設の気運が高まり、同30年に市議会で空港設置促進が決議。設置促進の期成会もでき、一丸となって国への要望や候補地の選定を進めた結果、同

丘を削る大工事によって完成

38年に国が設置を許可。2年半の整備工事を経て、同41年に、市が管理する滑走路が1千200×30mの空港として開港しました。

当時市職員として整備工事に携わった田村哲男さんは「滑走路などを造るため、丘を削って平らにする工事をしましたが、1年間で削り取った土の量は20万m以上にもなりました」と振り返ります。

こうして完成した空港の開港式典にも田村さんは出席。初就航した日本国内航空（現日本航空）のYS-11型機（60人乗り）の到着と出発も見守りました。田村さんは「利用者が増え、ここまで発展してきたことがうれしいです。旭

川空港は北海道の真ん中にあり、どこにでも行きやすいことを、北海道を訪れる人にもっと知ってもらえれば、さらに発展すると思います」と空港への思いを話します。

旭川から全国各地・海外へ

地域の熱意から生まれた空港は今年で50年。この間、航空機はプロペラ機からジェット機へと変わり、滑走路や駐機場の拡張、ターミナルビルの建設など整備を繰り返して現在に至ります。

国内3都市の他、海外4都市を結び、それらの都市を経由して様々な地域へ行くことができる利便性の良い旭川空港。さらに魅力が高め、多くの人に親しまれる空港にする取組みも進められています。

旭川空港のあゆみ

昭和30年	旭川市議会で空港設置促進を決議
31年	旭川飛行場設置促進期成会が結成
38年	旭川空港の設置が国から許可
41年	市管理の第3種空港として開港（滑走路1千200×30m）
55年	東京線が就航 第2種(B)空港（主要な国内航空路線に必要な飛行場）になる
57年	ジェット機の運航を開始 滑走路2千×45m供用開始
62年	初の国際チャーター便が韓国から就航
平成3年	大阪線が就航
4年	名古屋線が就航
9年	滑走路2千500×60m供用開始
12年	現在の旅客ターミナルビルが完成
16年	管制官が配置され、飛行場管制業務を開始
18年	初の国際定期便ソウル線が就航 旅客ターミナルビル国際線施設が完成
19年	税関が常駐し、業務開始
20年	検疫が常駐し、業務開始
24年	台北線が就航
26年	上海線と北京線が就航
28年	出入国管理が常駐し、業務開始 国際線旅客ターミナル増築を決定



気持ちの良い旅のスタートを

旅客チームマネジャー

越田みどりさん (前列左から2人目)

搭乗手続きを担当しています。お客様が気持ち良く旅に出発していただけるように心掛けています。小さなことでも分からないことは、お気軽に声を掛けてください



荷物を預ける

大きな荷物や機内に持ち込めない物は、1階の手荷物カウンターへ



チェックイン

搭乗する方は、出発15分前までに、1階の出発カウンターへ

万全の体制で

国内線が東京・名古屋・大阪へ、
・北京へ就航しています。
着陸させるために、
の体制で業務を遂行します。
線の動きを追いました。



7月7日

14:00

ANA325便が
名古屋から到着



積出し

乗客が降りると、清掃員が機内へ。一方で、搭載されてきた手荷物は、ベルトローダーなどの特殊な機材を駆使し、限られた時間内で確実に乗客へ



航空機に燃料補給車を横付けして、ジェット燃料を翼の下にある給油口に注油。旭川から名古屋へは、片道分で約5,700ℓを給油します



給油



停止位置へ誘導

地上誘導員の指示によって、航空機を所定の位置に停止させ、ボーディングブリッジを装着します。次の出発に向けて、スタッフが一斉に動き出します

航空機を誘導

マーシャラー (地上誘導員)
なかしま ちづる
中島千鶴さん

パドルという道具でパイロットに合図し、誘導します。急ブレーキなどで乗客が大きな振動を感じないように、スムーズな誘導を心掛けています。小柄な私ですが、大きな航空機を動かす醍醐味があります





搭乗

車椅子や病気などで手助けが必要な方、小さな子供のいる方から搭乗



安全のためにご協力を

保安検査隊 多田野彩加さん

お客様が機内に持ち込む手荷物や身に着けている物を、X線やCTスキャンなどの機器を使って検査します。ベルトのバックルなどの金属は、ゲートを通ったときにブザーが鳴ることもありますが、安全確保のためにご理解ください



搭乗検査

出発15分前までには、2階の搭乗待合室入り口で保安検査を済ませます

到着から出発まで



7月7日
14:35

ANA326便が
名古屋へ出発

平成28年8月現在、旭川空港では、国際線はソウル・台北・上海航空機を安全に離陸させる。それぞれのスタッフは万全に到着から出発までの国内



離陸に向けて

荷物を搭載したら、グラウンド責任者であるキーマンが最終チェック。乗員の指示に従い、トーイングカーで航空機を自走できる場所まで押し出します



積み込み

手荷物の積み込みの際は、重量のバランスを取りながら、何をどのコンテナに積み込んだか分かるように、チェックシートにシールを貼ります



管制塔

地上23mの管制塔最上階にある管制室は、360度ガラス張りになっています。航空管制官は上空や滑走路の状況を見守り、パイロットに無線で離着陸の許可や指示を出します



空の安全を守る

航空管制官

富安裕哉さん

大雪山連峰などの雄大な景色を背景に航空機が離着陸する旭川空港は、カメラマンの間では、人気のある撮影スポットだという話を聞きます。一般の方も航空機を身近に感じられる、貴重な空港だと思います

旭川からひとつ飛び！ さあ、どこへ行こう？

旭川空港就航路線

平成28年8月現在、旭川空港では、国内3都市・海外4都市への路線が運航されています。

空港までは市内中心部から車で約30分。空港行きのバスも運行されていますから、国内へ、また海外へ便利に旅立つことができます。海外からの観光客が増えている中、皆さんも旭川から海外へ足を伸ばしてみませんか。

※時期によって便数や運航時間が変わります。

中国・上海



上海浦東国際空港
〈中国東方航空・春秋航空〉
毎週5往復
所要時間：3時間40分

ヨーロッパの雰囲気が残る地区や江南の伝統を受け継ぐ地区、高層ビル街など様々な魅力満載の上海へ

中国・北京



北京首都国際空港
〈中国東方航空〉
毎週3往復
所要時間：3時間50分

悠久の歴史と絢爛たる文化を持つ歴史文化都市。万里の長城、北京故宮など世界遺産の数々を満喫できます

名古屋



中部国際空港セントレア
〈ANA〉
毎日1往復
所要時間：1時間55分

平成25年に式年遷宮が行われた伊勢神宮は1度は訪れたい旅行先。みそカツなど名古屋ならではの食も

大阪



伊丹空港〈JAL〉8/31まで
関西国際空港〈ANA〉9/30まで
毎日各1往復
所要時間：2時間

食い倒れのまち大阪。たこ焼きをつまみ、お笑いを観賞して串カツを食べれば、こてこての大阪生活を満喫



JAL機長の高石 健さん

多くの乗客を乗せて空を飛び、旭川空港に離着陸するパイロットや客室乗務員は、旭川空港をどのよう感じているのでしょうか。日本航空（JAL）のパイロットと客室乗務員に聞きました。

パイロットや客室乗務員から見た旭川空港は、どんな空港なの？

神経を集中して着陸した後
旭川の雄大な景観に癒やされます

JALの機長として航空機を操縦する高石 健さんは「実は旭川空港は山岳地帯も近く、進入するときに技術が求められる空港です。それだけに緊張度も高いのですが、無事に着陸した後、窓の外に広がる雄大な景観に心癒やされます。空港近くの小高い公園（グリーンポート）から手を振っている人の姿を目にすると、大きな空港とは

違った温もりを感じます」と笑顔で話します。

旭川の上空を通るときは
街並みがよく見えます

旭川出身のJAL客室乗務員、高正 愛さんは「上空から大雪山連峰や畑、牧場が見られるので、到着する前から乗客の方は『北海道にきた！』と気分が高揚するようです。大雪山の景観は本当に美しく、特に秋の紅葉や冬の真っ白な雪景色は、旭川ならではです。



JAL客室乗務員の
高正 愛さん

また、着陸前はまちの上を通ることもあるので、街並みがよく見えます。プライベートで航空機に乗るときは、通っていた学校や公園を見つづけるのが密かな楽しみです」と話します。

旭川空港開港50周年記念事業

①旭川空港開港50周年記念 講演会

とき 9月9日(金) 午後3時～5時
ところ 旭川グランドホテル (6の9)

②50thアニバーサリーフェスティバル

旭川や道北地域の他、空路で結ばれている国内外の自慢料理や食品を販売します。

とき 9月10日(土)～12日(月) 午前10時～午後4時
ところ 旭川空港 (東神楽町東2線16号)

③パネルディスカッション

とき 9月10日(土) 午後2時～5時
ところ 東神楽町総合福祉会館 (東神楽町北1西1)

④ラーメン甲子園2016

とき 9月11日(日) 午前11時～午後3時
ところ 旭川空港公園グリーンポート



【詳細】①～③旭川空港開港50周年記念事業実行委員会 (☎83・3939)、④旭川ラーメン甲子園実行委員会 (☎070・6600・6502)

空の日／旭川空港開港50周年まつり

とき 9月10日(土)
ところ 旭川空港 (東神楽町東2線16号)
内容・時間・対象・定員 いずれも天候や航空機の運航状況により、変更や中止になる場合があります。

- ①JAL整備士体験・8:30～10:20、11:20～13:15 =小学3年生～高校生 (各回4人)
- ②JAL飛行機探検と写真撮影+マーシャリング体験・8:30～10:30、11:20～13:20=幼稚園～小学生と保護者 (各回20人)
- ③管制塔などの施設見学・9:00から、10:00から、11:00から=小学4年生以上 (各回10人)
- ④ホールインワンで遊ぼう・10:30から=小学生以下 (200人)
- ⑤JAL KIDS' STUDIO (制服撮影会)・10:30～11:30、13:30～14:30=子供と保護者
- ⑥空港消防車体験乗車・11:00～12:00 (3回) =小・中学生 (各回2人)
- ⑦千葉常雄さんと飛行機を撮影する会・11:30～13:00=初めて航空機を撮影する方 (15人)
- ⑧ANA/ADO到着便予想塗り絵大会・11:50～13:30=小・中学生 (20人)
- ⑨飛行場見学バスツアー・12:00から、13:00から=小学生以上 (各回22人)

※①②⑤は9月11日(日)も開催。①～③⑥⑦⑨は抽選。他にも様々な催しを開催。

申込方法 ①～③⑥⑦⑨は、8月29日(月)必着で希望の内容1つ (①②は希望日と時間)・住所・氏名・年齢・学年または職業・電話番号を往復はがき (1人1応募) に記入し、国土交通省旭川空港出張所 (〒071-1562 東神楽町東2線15号)

【詳細】旭川空港「空の日」実行委員会 (同出張所内 ☎83・2541)

旭川空港駐車場は有料です

9月10日(土)・11日(日)は、アルティモールまたは東神楽町役場周辺の臨時無料駐車場をご利用ください。アルティモール～東神楽バスセンター～旭川空港を結ぶ、無料シャトルバスを運行します (ご利用の方に粗品進呈)。



韓国・ソウル



仁川国際空港
〈アジアナ航空〉
毎週2往復 9/3まで
所要時間：3時間

パワーあふれる流行の最先端を感じながらも、韓国ならではの歴史が香る、魅力満載のソウルへ

台湾・台北



台湾桃園国際空港〈トランスアジア航空・エバー航空〉
毎週4往復
所要時間：4時間15分

食や夜市、まち歩きなど、多くの魅力にあふれる身近な海外、台湾。懐かしさと共に、最先端の楽しさを

臨時駐車場

ホクレンショップ 東神楽店 JA 東神楽
総合福祉会館 道道294号線
東神楽郵便局 道道37号線
東神楽バスセンター 道道294号線
義経公園
中央消防会館
東神楽総合体育館
東神楽町役場
臨時駐車場 (役場裏)
臨時駐車場 (役場前) 10日・11日のみ駐車可
至旭川 道道294号線
至旭川空港

臨時駐車場が満車の場合は
こちらの駐車場をご利用ください

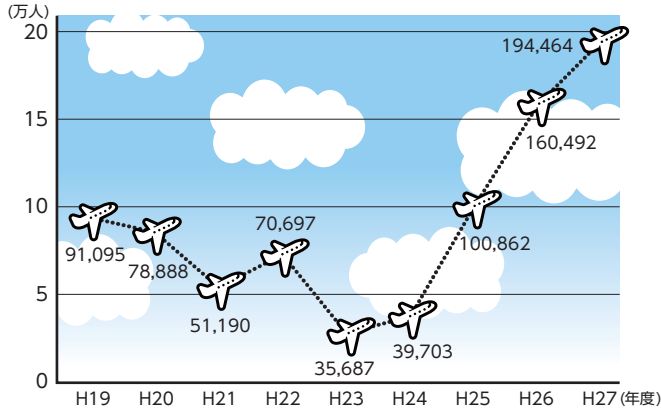
東京



羽田空港
〈JAL、ADO/ANA〉
毎日8往復
所要時間：1時間45分

搭乗客数1位の羽田空港。乗り継ぎも便利なので、東京観光はもちろん、羽田空港を経由して全国各地へ

旭川空港国際線乗降客数の推移



海外観光客の増加に対応

旭川空港に初の国際定期便が就航したのは、2006年の韓国・ソウル線。その後、特にアジア圏における北海道観光の人気の高まりや、地域の魅力を発信したプロモーション活動などにより、外国の航空会社から路線開設の意向も寄せられ、台北や上海、北京などの路線が次々に開設されました。国際線の乗降客数は、左のグラフにあるように、東日本大震災の

さらに魅力ある空港にするために

影響で一時落ち込んだものの、昨年度は約19万4千人と、多くの外国人観光客が訪れています。

今後も国際線の乗降客数は2020年に35万人、2030年には50万人と増加が見込まれ、施設が手狭な状況になっています。そのため、国際線旅客ターミナル増築を決め、2018年に供用開始の予定です。これを機により多くの海外の航空路線を誘致し、国内線の充実と併せて、さらに乗降客を増やしていく考えです。



2018年供用開始予定の国際線旅客ターミナルのイメージ

旭川空港を食の一大拠点に

市民や観光客、空港利用者に、北・北海道の魅力を発信する拠点として「SORAの駅」構想があります。その実現に向け、国際線旅客ターミナルの増築に合わせて、北・北海道の食を一堂に集めたフードコートや物販、地域の情報を発信する「空市」を、現在のターミナルビルに設けて、2019年にはオープンする予定となっています。



フードコートなどのイメージ

様々な機能や魅力を持ち、たくさんの方が利用する旭川空港。50年前の開港以来、市が運営していますが、これまで以上に効率的で効果的な運営を目指し、将来的な空港運営の民間委託についても検討を進めています。降り立つ多くの人や働く人たちが「素晴らしい」と絶賛する四季それぞれの景観はもとより、冬も雪による欠航は極めて少なく、就航率99・1%を誇ります。皆さんも、ぜひ旭川空港を利用してください。

【詳細】旭川空港事務所

☎ 83・2200



開港50周年を記念して、あさっぴーなどのキャラクターが描かれた航空機が運航